

第 1 5 1 回

取引先企業景気動向調査

〔平成27年 10-12月 実績〕  
〔平成28年 1- 3月 見通し〕

瀬戸信用金庫

総合企画部

## 調査概要

1. 調査期間 平成27年10～12月を対象に12月上旬に実施した。
2. 調査対象先 瀬戸・尾張旭地区は11業種174社。（うち陶磁器製造業87社）  
名古屋地区は7業種137社。（下表）
3. 調査方法 当金庫の営業店担当者による面接聞き取り調査。
4. 分析方法 各質問事項につき、増加（上昇）したとする企業割合と減少（下降）したとする企業割合の差（DI）を中心にして分析した。  
なお、珪砂製造業、和飲食器卸売業、電設資材卸売業、建築・土木・生コン製造業、螺子製造業は陶磁器製造業の集計には含めていない。

《瀬戸・尾張旭地区》

《名古屋地区》

《瀬戸・尾張旭地区》					《名古屋地区》				
業種		対象企業	有効回答	比率%	業種		対象企業	有効回答	比率%
陶磁器製造業	ノベルティ	17	17	100.0	製造業	繊維製品	11	11	100.0
	洋飲食器	9	9	100.0		機械部品	37	37	100.0
	タイル	8	8	100.0		紙加工品	14	14	100.0
	電磁器	20	19	95.0	卸売業	鋼材伸銅	21	21	100.0
	ファインセラミックス	14	14	100.0		建築材料	15	15	100.0
	和飲食器	19	19	100.0		家具文具	10	10	100.0
陶磁器製造業計	87	86	98.9	— — —		—	—	—	
珪砂製造業	11	11	100.0	— — —		—	—	—	
その他5業種	和飲食器卸売業	24	24	100.0	— — —	—	—	—	
	電設資材卸売業	18	18	100.0	— — —	—	—	—	
	建築・土木・生コン製造業	17	17	100.0	— — —	—	—	—	
	螺子製造業	17	17	100.0	— — —	—	—	—	
	その他5業種計	87	87	100.0	建設業	29	29	100.0	
瀬戸・尾張旭地区合計		174	173	99.4	名古屋地区合計		137	137	100.0
合計		対象企業数 311 社		有効回答数 310 社		回答率 99.7%			

判断指数：（DI）とは、業況・受注・売上・収益の増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの割合が多いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかをみる方法である。

（例）前回に比べて売上が増加した企業割合40%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合10%の場合、判断指数は40－10＝30となる。

判断指数がプラスのとき → 景気上向き

判断指数が0のとき → 景気横ばい

判断指数がマイナスのとき → 景気下向きと読み取る。

## < 瀬戸・尾張旭地区 >

### 1. 今回調査の景況（10～12月）

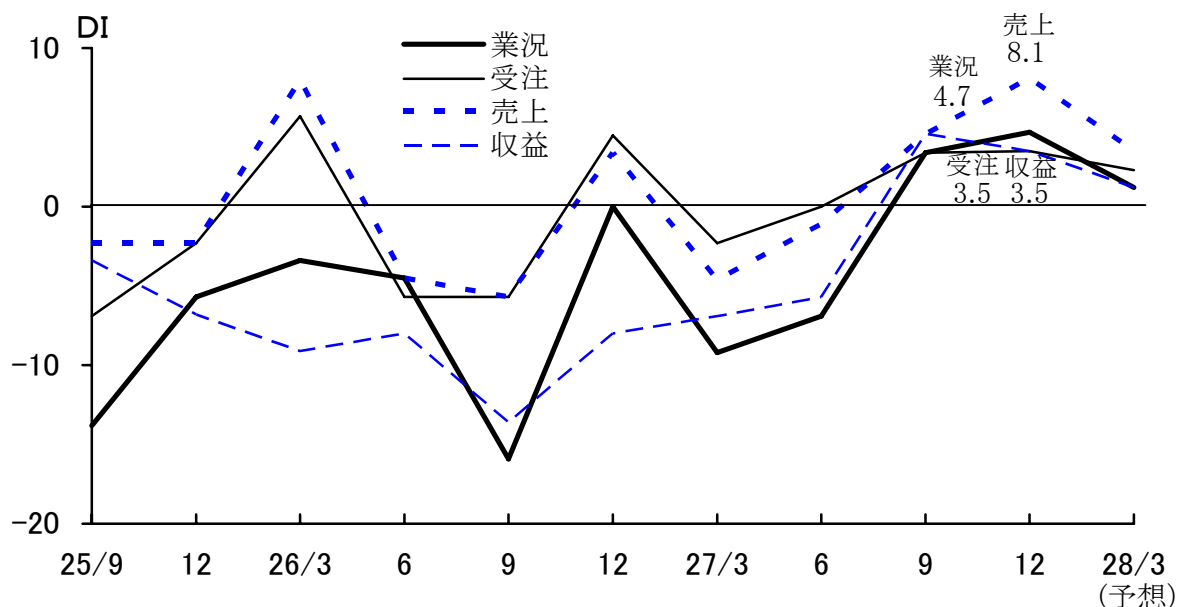
#### 季節的要因により改善

瀬戸・尾張旭地区の陶磁器製造業取引先企業（有効回答企業 86 社）の 10～12 月（聞き取りによる前回調査 7～9 月との対比）の業況についてみると、業況判断 D I は 4.7 となり、前回実績（3.4）比 1.3 ポイントの改善となった。

当地区陶磁器製造業においては、需要の低迷は続いているものの、年末需要期であり、季節商品に動きがみられ、2 期連続でプラスとなった。

業種別の業況判断 D I をみると、ノベルティ・タイル・和飲食器は改善、洋飲食器・電磁器は悪化、ファインセラミックスは弱含みで推移した。

#### ◎ 陶磁器製造業の業況・受注・売上・収益 D I 推移（前回調査比）



### 2. 来期の見通し（1～3月）

#### 3.5 ポイント悪化予想

陶磁器製造業全体での予想業況判断 D I は 1.2 となり、今回実績（4.7）比 3.5 ポイントの悪化予想となったものの、10～12 月期に引き続きプラスの見通し。

業種別の予想業況判断 D I では、和飲食器は改善、洋飲食器・タイル・電磁器・ファインセラミックスは横ばい、ノベルティは悪化で推移する見通し。

## ◎陶磁器製造業のD I 推移

指標		「増加－減少」企業割合(D I)										
		H25		H26				H27				H28.1-3
		7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	(予想)
前回調査比	業況											
		-13.8	-5.7	-3.4	-4.5	-15.9	0.0	-9.2	-6.9	3.4	4.7 (1.1)	(1.2)
	受注額	-6.9	-2.3	5.7	-5.7	-5.7	4.5	-2.3	0.0	3.4	3.5 (2.3)	(2.3)
	売上額	-2.3	-2.3	8.0	-4.5	-5.7	3.4	-4.6	-1.1	4.6	8.1 (2.3)	(3.5)
	売上数量	-3.4	-2.3	2.3	-6.8	-8.0	1.1	-4.6	-1.1	8.0	9.3 (5.7)	(2.3)
	販売単価	0.0	-1.1	-1.1	3.4	9.1	1.1	2.3	0.0	1.1	3.5 (0.0)	(-1.2)
	仕入価格	13.8	18.2	15.9	23.9	20.5	13.6	12.6	14.9	3.4	2.3 (2.3)	(0.0)
	製品在庫	2.3	-1.1	0.0	5.7	2.3	0.0	-2.3	3.4	1.1	1.2 (1.1)	(-1.2)
	原材料在庫	2.3	1.1	1.1	2.3	2.3	-1.1	0.0	2.3	1.1	2.3 (1.1)	(1.2)
	収益	-3.4	-6.8	-9.1	-8.0	-13.6	-8.0	-6.9	-5.7	4.6	3.5 (0.0)	(1.2)
資金繰り	-9.2	-11.4	-9.1	-17.0	-10.2	-6.8	-9.2	-6.9	-4.6	-9.3 (-6.9)	(-5.8)	
前年同期比	売上額	-3.4	-4.5	8.0	-2.3	-8.0	-2.3	-5.7	0.0	5.7	3.5	
	収益	-9.2	-10.2	-4.5	-5.7	-10.2	-5.7	-9.2	-1.1	6.9	5.8	
設備投資実施割合(%)		4.6	3.4	5.7	6.8	4.5	4.5	5.7	5.7	4.6	4.7 (2.3)	(1.2)
平均受注残	9月末 1.4ヶ月	12月末 1.4ヶ月	3月末 1.5ヶ月	6月末 1.7ヶ月	9月末 1.7ヶ月	12月末 1.7ヶ月	3月末 1.7ヶ月	6月末 1.7ヶ月	9月末 1.9ヶ月	12月末 1.6ヶ月		

注. ( ) 内は前期に予想した割合を示す。

景況天気図



## 陶磁器製造業

### <ノベルティ>

#### 1. 景況

業況判断D Iは23.5、前回(5.9)に比べ17.6ポイント改善した。海外での商品の大型受注のほか、季節商品である干支や雛人形の受注増加もあり、受注・売上は改善、収益は横ばいで推移した。

#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比23.5ポイント悪化する見込み。引き続き海外での大型受注を見込む企業があるものの、季節商品は落ち着きつつあり、受注・売上は悪化、収益は横ばいで推移する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	23.5	0.0	76.5	23.5	17.6		5.9	5.9	88.2	0.0	△23.5
受注	23.5	0.0	76.5	23.5	11.7		5.9	0.0	94.1	5.9	△17.6
売上	29.4	0.0	70.6	29.4	17.6	0.0	5.9	0.0	94.1	5.9	△23.5
収益	23.5	5.9	70.6	17.6	0.0	17.6	23.5	5.9	70.6	17.6	0.0

### <洋飲食器>

#### 1. 景況

業況判断D Iは△11.1、前回(0.0)に比べ11.1ポイント悪化した。主要取引先を中心に受注が安定している企業はあるが、学校給食用食器の受注が減少している企業や原材料の高騰による影響を受けた企業もあり、受注・売上は悪化、収益は横ばいで推移した。

#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△11.1、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。厳しい業況が続くとみられるが、取引先からの受注が安定している企業や経費の削減により収益増加を目指す企業もあり、受注・売上・収益は改善する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	11.1	88.9	△11.1	△11.1		0.0	11.1	88.9	△11.1	0.0
受注	0.0	11.1	88.9	△11.1	△11.1		0.0	0.0	100.0	0.0	11.1
売上	0.0	11.1	88.9	△11.1	△11.1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1
収益	0.0	11.1	88.9	△11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1

### <タイル>

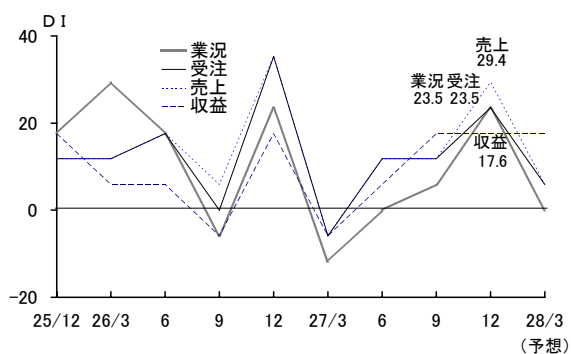
#### 1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回(△12.5)に比べ12.5ポイント改善した。主力販売先の倒産に伴い業績が低迷している企業があるものの、製造ラインを増設したことにより生産・売上が増加した企業もあり、受注は横ばい、売上・収益は改善した。

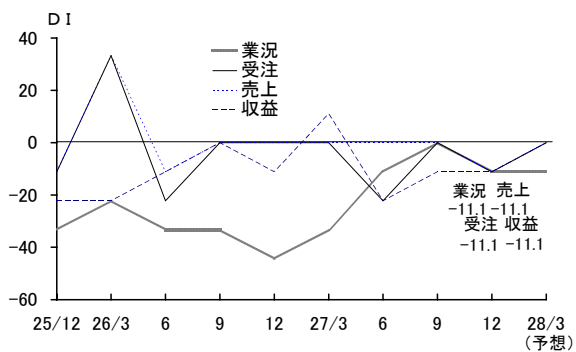
#### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。引き続き主力販売先の倒産の影響を見込む企業があるものの、取引先からの大型受注やラインの整備により効率化を図る企業もあり、受注・売上は改善、収益は横ばいで推移する見込み。

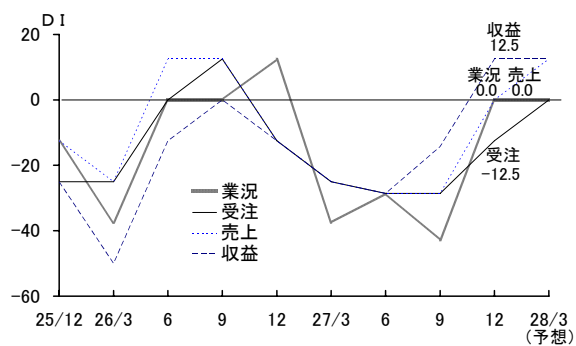
	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	12.5	12.5	75.0	0.0	12.5		12.5	12.5	75.0	0.0	0.0
受注	0.0	12.5	87.5	△12.5	0.0		12.5	12.5	75.0	0.0	12.5
売上	12.5	12.5	75.0	0.0	12.5	12.5	25.0	12.5	62.5	12.5	12.5
収益	12.5	0.0	87.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	87.5	12.5	0.0



時期	前期 平成27年 7～9月	当期 平成27年 10～12月	来期見通し 平成28年 1～3月
業種			
ノベルティ			



洋飲食器			
------	--	--	--



タイル			
-----	--	--	--

## ＜電磁器＞

### 1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回(5.0)に比べ5.0ポイント悪化した。価格競争の激化により販売単価の引下げ要請や後継者不在で事業縮小を計る企業もあるが、主要取引先からの安定した売上を確保している企業もあり、受注・売上は改善、収益は悪化した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。販売先からの値下げ要請を見込む企業があるものの、受注・売上は徐々に回復傾向にある企業もあり、受注・売上・収益はともに横ばいで推移する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	0.0	100.0	0.0	△5.0		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
受注	0.0	0.0	100.0	0.0	5.0		0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
売上	0.0	0.0	100.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
収益	0.0	5.3	94.7	△5.3	△5.3	0.0	0.0	5.3	94.7	△5.3	0.0

## ＜ファインセラミックス＞

### 1. 景況

業況判断D Iは21.4、前回(35.7)に比べ14.3ポイント悪化した。原子力発電所関連で需要が増加した企業や生産過程の見直しにより生産数が増加した企業があるものの、売上・受注が減少傾向の企業もあり、受注は悪化、売上・収益は改善した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは21.4、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。引き続き原子力発電所関連での受注増加を見込む企業がある一方、新製品の開発費等の増加や受注・売上の減少が続くとみられる企業もあり、受注・売上・収益はともに悪化する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	28.6	7.1	64.3	21.4	△14.3		28.5	7.1	64.3	21.4	0.0
受注	7.1	0.0	92.9	7.1	△7.2		0.0	0.0	100.0	0.0	△7.1
売上	21.4	0.0	78.6	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	100.0	0.0	△21.4
収益	28.5	0.0	71.4	28.6	14.3	0.0	7.1	7.1	85.7	0.0	△28.6

## ＜和飲食器＞

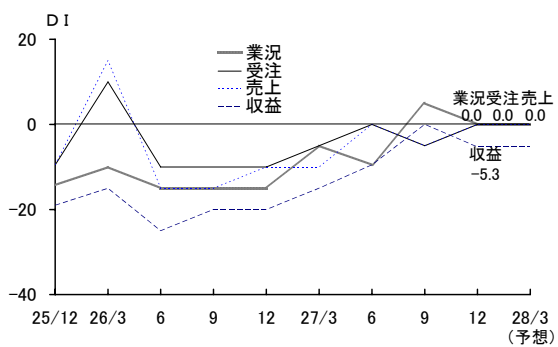
### 1. 景況

業況判断D Iは△10.5、前回(△15.8)に比べ5.3ポイント改善した。インターネット販売の受注が好調な企業がある一方、競争の激化により主要取引先からの受注が減少した企業もあり、受注・売上・収益はいずれも悪化した。

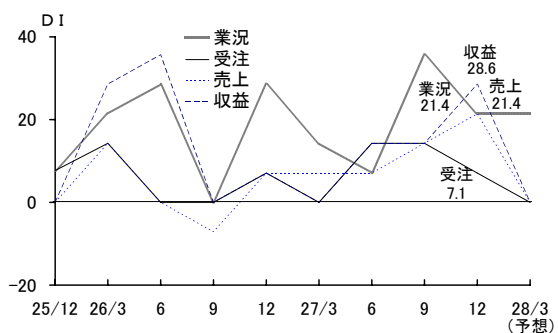
### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△5.3、今期実績比5.2ポイント改善する見込み。市場の低迷は続くと思われるものの、インターネット販売の受注増加を見込む企業があり、受注・売上・収益はともに改善する見込み。

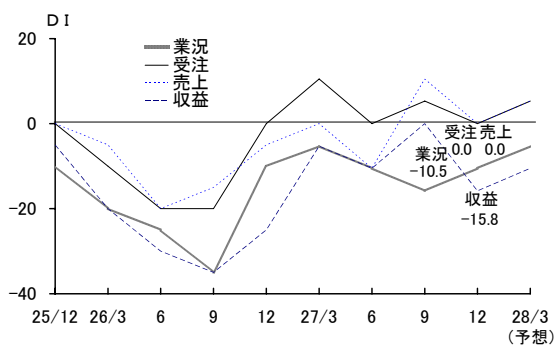
	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	5.3	15.8	78.9	△10.5	5.3		5.3	10.5	84.2	△5.3	5.2
受注	5.3	5.3	89.5	0.0	△5.3		5.3	0.0	94.7	5.3	5.3
売上	5.3	5.3	89.5	0.0	△10.5	5.3	5.3	0.0	94.7	5.3	5.3
収益	0.0	15.8	84.2	△15.8	△15.8	0.0	0.0	10.5	89.5	△10.5	5.3



時期	前期 平成27年 7~9月	当期 平成27年 10~12月	来期見通し 平成28年 1~3月
業種	電磁器	電磁器	電磁器



ファインセラミックス	ファインセラミックス	ファインセラミックス	ファインセラミックス
------------	------------	------------	------------



和飲食器	和飲食器	和飲食器	和飲食器
------	------	------	------



## その他 〈珪砂製造業〉

### 1. 景況

業況判断D Iは9.1、前回(9.1)と変わらず横ばいで推移した。業況が安定している企業があるものの、製品輸送コストの増加や特殊ビンの受注が減少した企業があり、受注・売上は悪化、収益は改善した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは9.1、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。円安の影響で収益の減少を見込む企業があるが、受注・売上は改善、収益は悪化する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	9.1	0.0	90.9	9.1	0.0		9.1	0.0	90.9	9.1	0.0
受注	0.0	9.1	90.9	△9.1	△36.4		0.0	0.0	100.0	0.0	9.1
売上	0.0	9.1	90.9	△9.1	△36.4	9.1	0.0	0.0	100.0	0.0	9.1
収益	18.2	0.0	81.8	18.2	18.2	△18.2	0.0	0.0	100.0	0.0	△18.2

## 〈和飲食器卸売業〉

### 1. 景況

業況判断D Iは12.5、前回(△12.5)に比べ25.0ポイント改善した。新規取引先の増加や中国向け販売の好調により売上が増加した企業があり、売上・収益はいずれも改善した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは4.2、今期実績比8.3ポイント悪化する見込み。取引先からの受注増加を見込む企業がある一方、受注の低迷により売上減少を見込む企業もあり、売上は悪化、収益は改善する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	16.7	4.2	79.2	12.5	25.0		8.3	4.2	87.5	4.2	△8.3
売上	25.0	4.2	70.8	20.8	29.1	4.2	8.3	4.2	87.5	4.2	△16.6
収益	4.2	8.3	87.5	△4.2	4.1	△4.2	4.2	4.2	91.7	0.0	4.2

## 〈電設資材卸売業〉

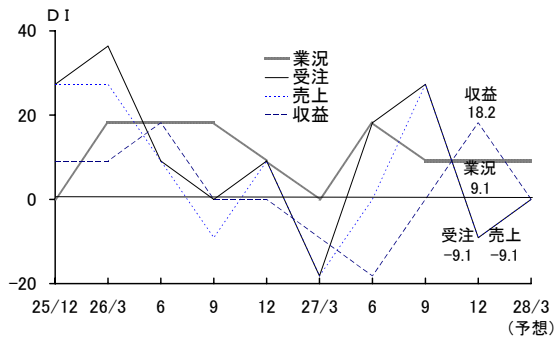
### 1. 景況

業況判断D Iは5.6、前回(△5.6)に比べ11.2ポイント改善した。季節商品であるイルミネーションの受注が増加した企業があるものの、新築物件の減少による個人向け住宅の照明器具等の受注が減少した企業があり、売上・収益は横ばいで推移した。

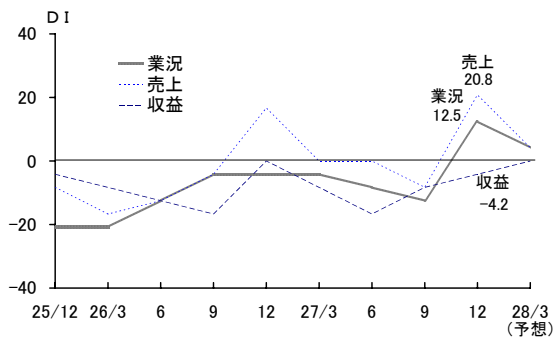
### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△5.6、今期実績比11.2ポイント悪化する見込み。個人向け住宅の需要回復を見込む企業もあるが、冬季のイルミネーションの売上増加の反動減や新築物件販売の受注減少を見込む企業があり、売上は悪化、収益は横ばいで推移する見込み。

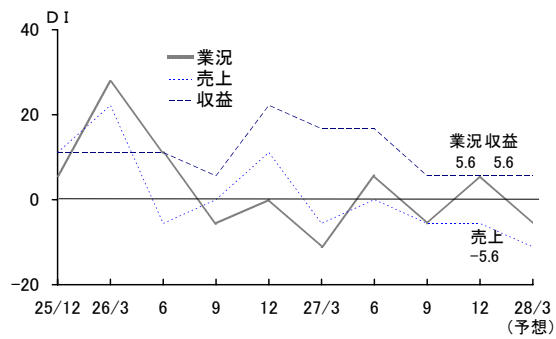
	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	11.1	5.6	83.3	5.6	11.2		5.6	11.1	83.3	△5.6	△11.2
売上	5.6	11.1	83.3	△5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	88.9	△11.1	△5.5
収益	11.2	5.6	83.3	5.6	0.0	0.0	11.2	5.6	83.3	5.6	0.0



時期	前期 平成27年 7～9月	当期 平成27年 10～12月	来期見通し 平成28年 1～3月
業種			
珪砂製造業			



和飲食器 卸売業			
-------------	--	--	--



電設資材 卸売業			
-------------	--	--	--

## 〈建築・土木・生コン製造業〉

### 1. 景況

業況判断D Iは5.9、前回(0.0)に比べ5.9ポイント改善した。一般住宅の工事により一定量の売上を確保している企業や、年度末に向けて公共工事の受注が増加した企業があり、受注・売上・収益はいずれも好転した。

### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは5.9、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。年度末に向けて公共工事の増加を見込む企業がある一方、公共工事完成に伴い反動減を見込む企業があり、受注・売上は悪化、収益は改善する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	5.9	0.0	94.1	5.9	5.9		11.8	5.9	82.4	5.9	0.0
受注	11.8	0.0	88.2	11.8	17.7		5.9	5.9	88.2	0.0	△11.8
売上	17.7	0.0	82.4	17.6	29.4	5.9	5.9	5.9	88.2	0.0	△17.6
収益	11.8	0.0	88.2	11.8	17.7	5.9	17.6	0.0	82.4	17.6	5.8

## 〈螺子製造業〉

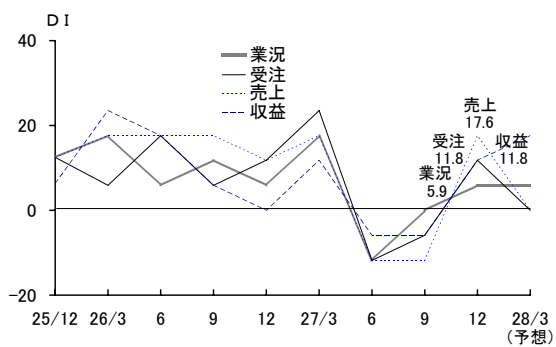
### 1. 景況

業況判断D Iは△5.9、前回(5.9)に比べ11.8ポイント悪化した。海外自動車販売が好調な企業がある一方、取引先からの値下げ要請や生産調整により受注が減少した企業があり、受注は横ばい、売上・収益は悪化した。

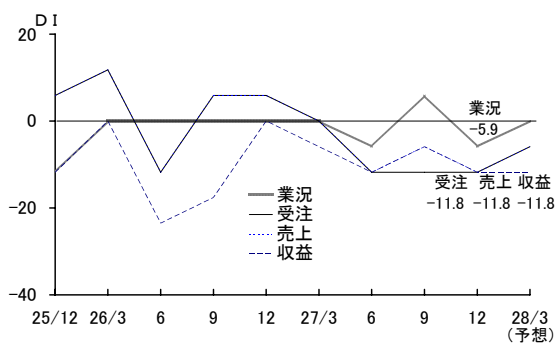
### 2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比5.9ポイント改善する見込み。引き続き取引先からの値下げ要請により受注・売上ともに減少を見込む企業があるが、自動車部品を中心に安定した受注を見込む企業もあり、受注・売上は改善、収益は横ばいで推移する見込み。

	27年10-12月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	28年1-3月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	5.9	11.8	82.4	△5.9	△11.8		5.9	5.9	88.2	0.0	5.9
受注	0.0	11.8	88.2	△11.8	0.0		0.0	5.9	94.1	△5.9	5.9
売上	0.0	11.8	88.2	△11.8	△5.9	△35.3	0.0	5.9	94.1	△5.9	5.9
収益	0.0	11.8	88.2	△11.8	△5.9	△11.8	0.0	11.8	88.2	△11.8	0.0



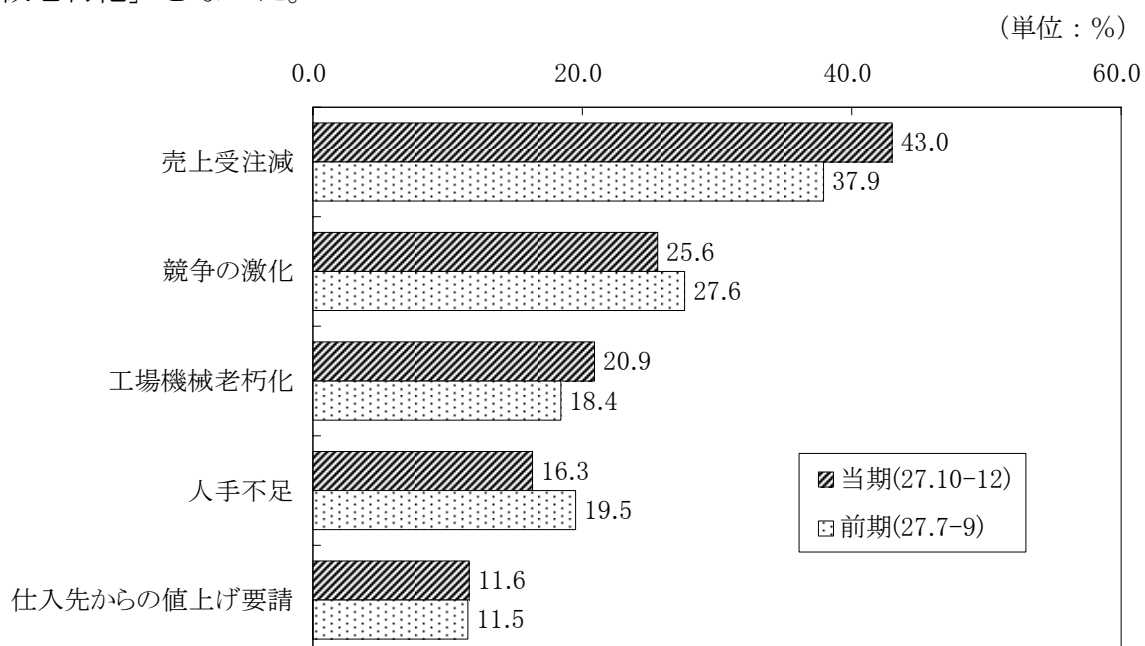
時期	前期 平成27年 7~9月	当期 平成27年 10~12月	来期見通し 平成28年 1~3月
業種			
建築・土木 生コン 製造業			



業種			
螺子製造業			

### 経営上の問題点上位5項目（陶磁器製造業）

今回調査では、1位「売上・受注の停滞・減少」、2位「競争の激化」、3位「工場機械老朽化」となった。



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目まで回答

### 設備投資の動き（陶磁器製造業）

今回調査では、設備投資の実績は4.7%で、前期実績を0.1ポイント上回った。来期（今後3か月以内）は1.2%で、当期実績を3.5ポイント下回って推移する予想となった。

（単位：％）

	前期 27年7-9月期	当期 27年10-12月期	来期 28年1-3月期
実施あり	4.6	4.7	1.2
土地	0.0	0.0	0.0
建物	0.0	0.0	0.0
機械の新設	75.0	75.0	100.0
機械の更改	25.0	0.0	0.0
その他	0.0	25.0	0.0
実施なし	95.4	95.3	98.8

※内訳の数字は「実施あり」に占める割合で、1企業が複数回答あり。

## 平成28年の経営見通し

特別調査として「平成28年の経営見通し」について、瀬戸・尾張旭地区の11業種174社（うち陶磁器製造業87社）、名古屋地区の7業種137社を対象に、調査を実施しました。結果は以下のとおりです。

なお、全国、愛知県は、信金中央金庫の調査によるもので、調査先は全国15,917先、愛知県729先の結果です。

### 1. 自社の業況見通し

(単位:%)

		良い				普通	悪い				DI (A) - (B)
		(A)	非常に良い	良い	やや良い		(B)	やや悪い	悪い	非常に悪い	
	ノベルティ	11.8	0.0	0.0	11.8	82.4	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9
	洋飲食器	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1	11.1	0.0	0.0	△11.1
	タイル	12.5	0.0	0.0	12.5	62.5	25.0	12.5	12.5	0.0	△12.5
	電磁器	5.3	0.0	0.0	5.3	89.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
	ファインセラミックス	28.6	0.0	0.0	28.6	50.0	21.4	21.4	0.0	0.0	7.1
	和飲食器	5.3	0.0	0.0	5.3	73.7	21.1	10.5	10.5	0.0	△15.8
陶磁器製造業計	平成28年	10.5	0.0	0.0	10.5	75.6	14.0	10.5	3.5	0.0	△3.5
	平成27年	6.8	0.0	0.0	6.8	55.7	37.5	29.5	8.0	0.0	△30.7
	珪砂	36.4	0.0	0.0	36.4	63.6	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4
	和飲食器卸売	0.0	0.0	0.0	0.0	79.2	20.8	20.8	0.0	0.0	△20.8
	電設資材卸売	16.7	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	建築・土木・生コン	0.0	0.0	0.0	0.0	94.1	5.9	0.0	5.9	0.0	△5.9
	螺子	11.8	0.0	0.0	11.8	64.7	23.5	23.5	0.0	0.0	△11.8
	その他業種計	10.3	0.0	0.0	10.3	74.7	14.9	13.8	1.1	0.0	△4.6
瀬戸・尾張旭地区取引先計		10.4	0.0	0.0	10.4	75.1	14.5	12.1	2.3	0.0	△4.0
名古屋地区取引先計		18.2	0.0	0.7	17.5	54.0	27.7	25.5	2.2	0.0	△9.5
当金庫取引先計	平成28年	13.9	0.0	0.3	13.5	65.8	20.3	18.1	2.3	0.0	△6.5
	平成27年	11.9	0.0	1.0	10.9	55.8	32.4	25.0	6.7	0.6	△20.5
全国	平成28年	16.8	0.3	2.4	14.2	49.2	33.9	26.5	6.3	1.1	△17.1
	平成27年	15.3	0.2	2.3	12.7	44.9	39.9	30.4	8.1	1.4	△24.6
愛知	平成28年	18.2	0.3	3.0	14.9	46.9	34.9	28.1	5.5	1.2	△16.7
	平成27年	16.8	0.3	2.3	14.2	43.9	39.3	29.5	8.1	1.6	△22.4

#### <当金庫>

平成28年の自社の業況見通しについては、「良い」が13.9%、「悪い」が20.3%で、DI（「良い(A) - 悪い(B)」)は△6.5となり1年前の調査に比べ14.0ポイント改善する見通しとなった。

瀬戸・尾張旭地区取引先DIは△4.0で1年前の調査(△24.6)に比べ20.6ポイント改善、名古屋地区取引先DIは△9.5で1年前の調査(△15.3)に比べ5.8ポイント改善した。名古屋地区取引先DIは、1年前の調査に比べわずかに回復する見通しとなった。

また、全国、愛知県ともにマイナスの中で回復しつつあり、1年前の調査に比べDIは水面下での改善の見通しとなった。

#### <陶磁器製造業>

陶磁器製造業は「良い」が10.5%、「悪い」が14.0%となり、DIは△3.5で1年前の調査に比べ27.2ポイント改善する見通しとなった。

業種別では、1年前の調査と比べてDIはノベルティ・電磁器で好転、洋飲食器・タイル・和飲食器は改善傾向、ファインセラミックスは回復基調と全ての業種で明るい方向に推移する見通しとなった。その他業種においては、珪砂製造業は1年前より大きく改善する見通しとなっている。

## 2. 自社の売上額伸び率の見通し

(単位:%)

		増加				変化なし	減少				DI (A)-(B)		
		(A)	30%以上	20~29%	10~19%		10%未満	(B)	10%未満	10~19%		20~29%	30%以上
	ノベルティ	17.6	0.0	5.9	0.0	11.8	76.5	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	11.8
	洋飲食器	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	77.8	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	タイル	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
	電磁器	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	89.5	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	ファインセラミックス	35.7	0.0	7.1	7.1	21.4	42.9	21.4	21.4	0.0	0.0	0.0	14.3
	和飲食器	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5	84.2	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3
陶磁器製造業計	平成28年	16.3	0.0	2.3	2.3	11.6	74.4	9.3	8.1	1.2	0.0	0.0	7.0
	平成27年	13.6	0.0	1.1	2.3	10.2	65.9	20.5	18.2	2.3	0.0	0.0	△6.9
	珪砂	45.5	0.0	0.0	27.3	18.2	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5
	和飲食器卸売	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0
	電設資材卸売	27.8	0.0	0.0	0.0	27.8	66.7	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	22.2
	建築・土木・生コン	17.6	0.0	0.0	0.0	17.6	70.6	11.8	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9
	螺子	23.5	0.0	0.0	5.9	17.6	52.9	23.5	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他業種計	23.0	0.0	0.0	4.6	18.4	65.5	11.5	9.2	2.3	0.0	0.0	11.5
	瀬戸・尾張旭地区取引先計	19.7	0.0	1.2	3.5	15.0	69.9	10.4	8.7	1.7	0.0	0.0	9.2
	名古屋地区取引先計	29.2	0.0	0.0	7.3	21.9	52.6	18.2	16.1	1.5	0.7	0.0	10.9
当金庫取引先計	平成28年	23.9	0.0	0.6	5.2	18.1	62.3	13.9	11.9	1.6	0.3	0.0	10.0
	平成27年	21.2	0.0	0.6	6.4	14.1	56.4	22.4	17.6	4.2	0.3	0.3	△1.3
全国	平成28年	29.9	0.9	1.2	7.1	20.7	44.3	25.9	18.8	5.1	1.2	0.8	4.0
	平成27年	27.9	0.7	1.5	6.6	19.2	42.3	29.8	21.6	5.8	1.4	0.9	△1.8
愛知	平成28年	33.6	0.8	1.7	7.7	23.4	42.0	24.4	16.7	5.0	1.2	1.5	9.2
	平成27年	29.0	0.7	1.2	6.7	20.4	40.6	30.5	21.0	6.0	2.2	1.2	△1.5

### <当金庫>

平成28年の自社の売上額伸び率の見通しについては、「増加」が23.9%、「減少」が13.9%で、DI（「増加(A)－減少(B)」）は10.0となり、1年前の調査と比べ11.3ポイントの改善見通しとなった。業況が改善する見通しとなった自社の業況見通しの結果を受け、自社の売上額伸び率についても期待感は強く、DIはプラスの見通しとなった。

瀬戸・尾張旭地区取引先DIは9.2（1年前の調査△4.6）、名古屋地区取引先DIは10.9（1年前の調査2.9）で、ともに1年前の調査に比べて明るい見通しとなり、DIは瀬戸・尾張旭地区取引先でプラスに転じ、名古屋地区取引先はプラス幅が大きくなった。

全国、愛知県ともに1年前の調査に比べDIはプラスに転じており、改善見通しとなっている。

### <陶磁器製造業>

陶磁器製造業は「増加」が16.3%、「減少」が9.3%で、DIは7.0となり、1年前の調査（△6.9）に比べてプラスに転じた。

業種別のDIは、洋飲食器を除く業種で改善しており、特に和飲食器では1年前の調査に比べ35.3ポイント大幅に改善する見通しとなった。

その他業種については、全ての業種で改善しており、建築・土木・生コンはマイナスから好転、珪砂は堅調に推移する見通しとなった。

### 3. 自社の業況が上向く転換点

(単位:%)

		すでに上向いている	6か月以内	6か月以内の短期間で好転	1年後	2年後	3年後	3年超	1年以上の中長期間で好転	業況改善の見通しなし	
ノベルティ	ノベルティ	5.9	0.0	5.9	11.8	0.0	17.6	11.8	41.2	52.9	
	洋飲食器	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	66.7	
	タイル	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	37.5	
	電磁器	0.0	10.5	10.5	5.3	5.3	5.3	21.1	36.8	52.6	
	ファインセラミックス	35.7	7.1	42.9	7.1	0.0	7.1	28.6	42.9	14.3	
	和飲食器	5.3	0.0	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	21.1	73.7	
	陶磁器製造業計	平成28年	9.3	4.7	14.0	7.0	2.3	8.1	17.4	34.9	51.2
		平成27年	8.0	4.5	12.5	1.1	8.0	13.6	17.0	39.8	47.7
	珪砂	珪砂	9.1	27.3	36.4	27.3	18.2	0.0	0.0	45.5	18.2
		和飲食器卸売	4.2	0.0	4.2	12.5	0.0	16.7	12.5	41.7	54.2
		電設資材卸売	16.7	0.0	16.7	16.7	11.1	0.0	33.3	61.1	22.2
建築・土木・生コン		0.0	5.9	5.9	11.8	11.8	17.6	29.4	70.6	23.5	
螺子		11.8	0.0	11.8	29.4	0.0	17.6	11.8	58.8	29.4	
その他業種計	8.0	4.6	12.6	18.4	6.9	11.5	18.4	55.2	32.2		
瀬戸・尾張旭地区取引先計	8.7	4.6	13.3	12.7	4.6	9.8	17.9	45.1	41.6		
名古屋地区取引先計	13.9	10.9	24.8	18.2	8.8	11.7	13.9	52.6	22.6		
当金庫取引先計	平成28年	11.0	7.4	18.4	15.2	6.5	10.6	16.1	48.4	33.2	
	平成27年	12.5	6.7	19.2	12.8	8.0	11.2	15.1	47.1	33.7	
全国	平成28年	14.9	9.1	24.0	14.5	9.8	10.5	10.3	45.1	30.8	
	平成27年	14.1	8.9	23.0	14.6	10.7	9.9	10.2	45.4	31.6	
愛知	平成28年	18.4	11.7	30.1	16.7	8.6	8.6	8.8	42.8	27.1	
	平成27年	17.6	8.0	25.6	16.3	11.6	8.0	9.7	45.7	28.7	

#### <当金庫>

自社の業況が上向く転換点については、「6か月以内の短期間で好転(「すでに上向いている」と「6か月以内」の合計)」の回答割合が18.4%となり、1年前の調査(19.2%)と比べ0.8ポイントの減少となった。「1年以上の中長期間で好転」する企業は、48.4%となっているが、内訳を見ると、「3年後」「3年超」の割合や「業況改善の見通しなし」の割合が1年前の調査と比較してほぼ横ばいとなり、業況が上向くには長期間かかる見通しとなった。

地区別では、「6か月以内の短期間で好転」と「1年以上の中長期間で好転」の2つの項目の割合は、瀬戸・尾張旭地区取引先に比べ名古屋地区取引先の方が上回っており、短期間・中長期間を問わず業況改善を見込んでいる。なお、「業況改善の見通しなし」の回答割合は、名古屋地区取引先の22.6%に対し瀬戸・尾張旭地区取引先は41.6%となっており、地域により業況改善の見通しに違いがみられた。

#### <陶磁器製造業>

「6か月以内の短期間で好転」の回答割合は14.0%となり、1年前の調査と比べて回答割合が若干高く、「1年以上の中長期間で好転」の回答割合は34.9%となり、1年前の調査と比べて回答割合が低くなった。また、「業況改善の見通しなし」は51.2%と全体の5割以上を占める高い回答割合となった。

業種別では、タイルとファインセラミックスで「6か月以内の短期間で好転」の割合が高くなっているが、ノベルティ・洋飲食器・電磁器・和飲食器では5割以上の企業が「業況改善の見通しなし」と回答しており、業況の低迷が続く見通しとなっている。



#### 4. マイナンバー制度対応への準備

(単位:%)

	対応度合い				相談相手					
	十分に 対応 できている	対応 できている	あまり対応 できて いない	まったく 対応できて いない	取引 金融機関	国・ 自治体・ 行政機関 等	弁護士・ 税理士・ 社労士等	システム 業者	自社で対 応(相談 しない)	わからない
ノベルティ	5.9	35.3	35.3	23.5	11.8	11.8	64.7	5.9	0.0	5.9
洋飲食器	0.0	66.7	0.0	33.3	11.1	0.0	77.8	0.0	0.0	11.1
タイル	0.0	37.5	37.5	25.0	12.5	0.0	62.5	0.0	12.5	12.5
電磁器	0.0	68.4	26.3	5.3	15.8	5.3	68.4	10.5	0.0	0.0
ファインセラミックス	7.1	21.4	42.9	28.6	0.0	7.1	78.6	0.0	7.1	7.1
和飲食器	0.0	15.8	63.2	21.1	31.6	0.0	36.8	0.0	5.3	26.3
<b>陶磁器製造業計</b>	<b>2.3</b>	<b>39.5</b>	<b>37.2</b>	<b>20.9</b>	<b>15.1</b>	<b>4.7</b>	<b>62.8</b>	<b>3.5</b>	<b>3.5</b>	<b>10.5</b>
珪砂	0.0	27.3	18.2	54.5	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0	9.1
和飲食器卸売	12.5	33.3	45.8	8.3	29.2	4.2	50.0	4.2	8.3	4.2
電設資材卸売	27.8	50.0	16.7	5.6	5.6	0.0	88.9	0.0	0.0	5.6
建築・土木・生コン	0.0	35.3	58.8	5.9	11.8	11.8	64.7	0.0	5.9	5.9
螺子	0.0	35.3	58.8	5.9	0.0	11.8	82.4	0.0	5.9	0.0
その他業種計	9.2	36.8	41.4	12.6	13.8	6.9	69.0	1.1	4.6	4.6
瀬戸・尾張旭地区取引先計	5.8	38.2	39.3	16.8	14.5	5.8	65.9	2.3	4.0	7.5
名古屋地区取引先計	8.0	38.0	47.4	6.6	8.0	2.9	75.2	1.5	7.3	5.1
<b>当金庫取引先計</b>	<b>6.8</b>	<b>38.1</b>	<b>42.9</b>	<b>12.3</b>	<b>11.6</b>	<b>4.5</b>	<b>70.0</b>	<b>1.9</b>	<b>5.5</b>	<b>6.5</b>
全国	4.3	35.6	45.3	14.9	10.8	6.1	56.1	4.0	12.3	10.7
愛知	5.9	46.9	35.3	11.9	5.2	3.2	69.1	5.6	9.6	7.3

##### <当金庫>

平成28年1月から一部の行政手続きに利用されるマイナンバー制度に関連した対応状況について、「十分に対応できている」は6.8%、「対応できている」は38.1%にとどまった。一方、「あまり対応できていない」が42.9%、「まったく対応できていない」が12.3%と、5割以上の企業で制度の対応ができていない結果となった。マイナンバー対応にかかる相談相手として、「弁護士・税理士・社労士等」が70.0%と最も多く、続いて「取引金融機関」が11.6%という回答であった。

地区別にみると、対応状況について、対応できている企業割合（「十分に対応できている」「対応できている」の合計）は瀬戸・尾張旭地区取引先で44.0%、名古屋地区取引先が46%となった。対応にかかる相談相手として、「弁護士・税理士・社労士等」が最も多く、瀬戸・尾張旭地区取引先が65.9%、名古屋地区取引先も75.2%と高い割合になった。また、「取引金融機関」と回答した企業割合は、瀬戸・尾張旭地区取引先が14.5%、名古屋地区取引先が8.0%となった。

全国・愛知県と比較すると、対応状況について、対応できている企業割合（「十分に対応できている」「対応できている」の合計）は当金庫に比べて、全国では低く、愛知県では高くなっており、マイナンバー対応にかかる相談相手として、「弁護士・税理士・社労士等」が当金庫と同様に高い割合となった。






















##### <陶磁器製造業>

対応状況について、対応できている企業割合（「十分に対応できている」「対応できている」の合計）は41.8%、対応できていない企業割合（「あまり対応できていない」「まったく対応できていない」の合計）は58.1%となり、6割弱の企業では、十分な対応ができていないことがうかがえる。

マイナンバー対応にかかる相談相手として、「弁護士・税理士・社労士等」が62.8%と最も多く、「取引金融機関」が15.1%と続いた。また、「わからない」が10.5%と高い回答割合となった。

景気動向調査結果 (名古屋地区)

平成 27 年 12 月

業種		時期	前期 平成 27 年 7~9 月	当期 平成 27 年 10~12 月	来期見通し 平成 28 年 1~3 月	概 況
製 造 業	繊維製品					業況判断DIは△9.1、前期比 9.1 ポイント悪化となった。 受注額DIは△9.1、前期比 18.2 ポイント悪化、売上額DIは△9.1、前期比 9.1 ポイント悪化となっている。 予想業況判断DIは△18.2、今期比 9.1 ポイント悪化する見込み。
	機械・部品					業況判断DIは 10.8、前期比 8.1 ポイント改善となった。 受注額DIは 16.2、前期比 2.7 ポイントの改善、売上額DIは 16.2、前期比 5.4 ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは 10.8、今期比横ばい見込み。
	紙加工品					業況判断DIは△14.3、前期比 7.1 ポイント改善となった。 受注額DI、売上額DIともに 7.1、前期比もともに 14.2 ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは△21.4、今期比 7.1 ポイント悪化する見込み。
卸 売 業	鋼材・伸銅品					業況判断DIは 14.3、前期比 19.1 ポイント改善となった。 売上高DIは 0.0、前期比 9.5 ポイントの改善、売上数量DIは 0.0、前期比 4.8 ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは 4.8、今期比 9.5 ポイント悪化する見込み。
	建築材料					業況判断DIは 6.7、前期比 40.0 ポイントの改善となった。 売上額DIは 0.0、前期比 6.7 ポイントの改善、売上数量DIは 6.7、前期比 13.4 ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは 0.0、今期比 6.7 ポイント悪化する見込み。
	家具・文具					業況判断DIは△30.0、前期比 20.0 ポイント悪化となった。 売上数量DI、販売単価DIともに△10.0、前期比もともに 10.0 ポイントの悪化となっている。 予想業況判断DIは△10.0、今期比 20.0 ポイント改善する見込み。
建 設 業						業況判断DIは 13.8、前期比横ばいとなった。 受注額DIは 13.8、前期比 3.4 ポイントの悪化、売上額DIは 17.2、前期比 3.4 ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは 37.9、今期比 24.1 ポイント改善する見込み。

※この天気図は、本調査を総合的に判断して作成したものです。



## バンコク駐在員事務所通信

平成27年12月  
バンコク駐在員事務所  
所長 松浦 博章

### タイの政治経済等最新事情

#### 1. 政治

ソムキット副首相は、本年11月25日から28日、就任後初めて訪日しました。訪日に際して経済5大臣を同行させており、日本からの投資拡大に対する期待の大きさが伺えました。本年9月にクラスター開発計画の一環として打ち出した「スーパークラスター対象事業」については、8年間の法人税免除に加え、5年間の法人税半減など従来の最大限の恩典を付与、さらに重要度の高い産業とみなされる場合は、財務省が最長10～15年の法人税免税を検討するとしています。また、新たな成長エンジンを創出するべく、①持続的成長のため既存の産業を強化する5業種（次世代自動車、スマートエレクトロニクス、富裕層・医療・福祉向けツーリズム、農工業・バイオ技術、先進食品加工）、②さらなる発展のための未来産業を創出する5業種（産業用ロボット、航空・物流、バイオ燃料・化学、デジタル、医療ハブ）を指定し、これら投資についても、最長10～15年の法人税免税や研究員に対する個人所得税の免除などを付与する方向で検討を進めています。

#### 2. 経済

タイ中央銀行は今年10月の主要経済指標からタイ経済は緩やかな回復が続いていると発表。交通部門や灌漑対策等による公共部門の支出が下支えしており、民間部門では2016年から新しい自動車税の導入を前に年末に向けて新車購入の駆け込み需要が発生しています。ただし、タイの10月の輸出額は前年同月比8.1%減の185.7億ドル、輸入額は18.2%減の164.7億ドルとなり、輸出の前年割れは10ヶ月連続となりました。

#### 3. 社会

世界保健機構（WHO）がまとめた2015年の交通事故に関する報告で、タイは2013年の人口10万人当たりの交通事故死者が36.2人と世界で2番目に多いと発表されました。

タイの道路交通状況について、道路の保安全管理、車両の整備基準、道路交通法規の執行などが不十分と指摘しています。タイへの出張の際は、車・バイクに十分お気をつけください。

#### 4. テクノロジー

日本の企業連合が鉄道メンテナンス事業に参画する初めての海外事例となるパープルラインは、バンコクの地下鉄MRTを運営するバンコクメトロ社が運営し、バンコク北部のバンサー地区から北西郊外のバンヤイ地区を結ぶ計画の約23kmの鉄道路線です。2013年11月、丸紅・東芝が出資する共同事業体を通じ、パープルラインの鉄道システムと10年間のメンテナンス事業を受注しました。JR東日本も事業参画し、今年度中に関連子会社製造によるステンレス車両63両(3両編成21編成)が供給される計画です。12月14日には試験走行が建設中の一部路線で行われ、プラユット首相が試乗しました。パープルラインは2016年8月の開業を予定しています。